

平成27年度 自己評価結果

高田カトリック幼稚園

1. 園の教育目標

カトリックの「愛の教え」に基づいて、一人ひとりの人格を尊敬と愛情をもって受け入れるように努める。学校教育法・モンテッソーリ教育法を総合的に取り入れ、幼児それぞれの発達に応じた自主活動を行い、他の幼児や教師たちと楽しく関わりあいながら、ゆたかな人格形成ができる適切な手助けと環境を提供するよう努める。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- * 保育環境の見直し、再構築。
- * 特別支援教育
- * 園と家庭とが育ての心をひとつにする。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
* 保育環境の見直し、再構築	育ちの土台である、愛情ある秩序感のある心地よい空間を作るよう努めた。モンテッソーリ教師の役割を理解し、子どもの自立を助けるよう各々が心掛けて日々の保育にあたった。 子どもが多様な価値・多様な関係性を学ぶきっかけとなる活動・、教材を準備するため、今年度は5歳児の活動を中心とした内容の研修を行い、教材準備を行い、提供した。 満3歳～5歳の子どもの興味と発達を踏まえ、一人ひとりの興味と発達を踏まえた教材・教具での自由選択活動の時間を大切にしながら、行事や年齢別の活動とのバランスを取れるように1日・週・月の時間配分等の検討を引き続き行っていく必要がある。
* 特別支援教育	作業療法士と連携し、発達の課題と接し方について、教職員が共通理解するためのカンファレンスを行い、保育にあたった。
* 園内の安全確認	1年を通して、子どもの発達に合わせながら避難訓練を実施した。避難訓練は、火災を想定したものだけに限らず、地震、不審者に対する対応も検討した。 アレルギーを持つ子どもが多く在籍するので、エピペンの使用方法の練習などを行った。

*家庭との連携	<p>細やかに子どもの様子について報告する、一人ひとりの育ちの姿を個人の記録として年に5回保護者へ手渡した。</p> <p>育友会と協力し、参加しやすい組織・活動形態を検討し試みてもらい、園と家庭が心をひとつにして子ども達の園生活の充実のために協力し合った。</p>
---------	---

4. 評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	
良好である	教職員間および保護者とも十分に緊密な連絡を取り合い、教育内容の向上・改善につながった。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
*職員の研修	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の年齢構成・経験年数などを考慮し、園内研修の充実を図る。
*保育環境の充実と見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達をきちんと評価し、今後の育ちを見据えた教材・教具の準備、環境を作っていく。 ・横割り活動と縦割りクラスでの自由選択活動や生活のバランスについて、引き続いて見直しを行っていく。
*安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震診断に基づいた補強を行い、より心地よい空間作りを行う。 ・地震や非常時を想定した危機管理の見直し。特に保護者への子どもの受け渡しに関するマニュアル作りと、保護者への理解をはかる。 ・けがやアレルギーなどによる体調の急な変化の際、職員の役割、連携した動き方の再確認を行う。

6. 関係者の評価

<p>年度初めの保護者の集いにおいて昨年度の取り組みと今年度の取り組み目標を園長が話しする。</p> <p>また、5月の評議員会、理事会でも報告、評価を行う予定。</p>
